

廃止の決定、川越シャトル無料乗車の90歳への引き上げなど、高齢者施策は後退している。学校給食センターを民間委託で建設した一方、学校現場で日常的に必要な予算は不十分である。公民館使用料は値上げされ、今後段階的に市民負担増となる。台風第21号への対策では、市独自の住宅支援策を実施していない。市民一人一人に寄り添うべきであり、さまざま指摘した点から反対である。

議案第97号

る。昨年度は約8千人に、1人平均約10万2千円が支給され、重度心身障害者の健康や生活を支える重要な制度となっている。必要な医療を必要人が受けられる社会保障制度を維持すべきである。

反対

【市民フォーラム】

主に7つの補正があり、ほとんど反対していないが、認定子ども園施設整備補助金について申し上げる。9月14日にハラスメントに関する報道があった。20日に当該議員が、市民フォーラム控室に来て、「この議案はうちの議案だから頼む。」と言った。この発言は代表者会議で本人が認めた。認定子ども園施設整備に反対するわけではないが、この理事長（当該議員）に子どもたちの命を託せないの、私は反対する。

議案第93号

反対

【日本共産党】

重度心身障害者の医療費に所得制限を設け、本人所得が360万4千円以上は、支給対象から外す内容である。安倍政権の「骨太の方針」の一環で、社会保障費の自然増を抑え国民負担を増やすもの。影響を受けるのは、約250名だがその約8割は就業し、納税してい

市政に関する一般質問

今定例会では、24名の議員が一般質問を行いました。



会派名 議員氏名
一般質問の表題

質問の順番

問

答弁者 ※ (質問の要約)

答弁の要約

※ 印の付いた答弁は複数の答弁者の発言をまとめたものです。

通告事項の要約



【今定例会の会議録】
議会ホームページ、または図書館等で
11月下旬頃から閲覧できます。
【閲覧場所】
図書館/市民センター/議会事務局/情報公開窓口(東庁舎)



やまぶき会 小高 浩行 1
児童生徒の体力向上取組み

問 文部科学省の新体力テストの結果、小学生は目標値を上回ったが、中学生は下回った。市立小中学校では体力向上にどう取り組んでいるのか。

答 学校教育部長 児童生徒の体力向上と運動好きの児童生徒を育てるための授業作りについて協議し、実践や指導例を参考にしている。また、朝マラ

ソナやスポーツタイム等を実施している。さらに、体力向上の目標や日々の取り組みが記録できるような「体力アップカード」を作成し、運動の意欲を継続させる取り組みや運動環境の整備、運動への興味等を高める各種掲示物等の工夫をしている。

問 子どもの体力

答 庁用自動車の安全運転

問 寺山緑地



やまぶき会 中原 秀文 2
プレー可能な環境の整備を

問 加速度的に高齢化が進む中、健康寿命延伸のためにも、グラウンドゴルフやマレットゴルフを推奨し環境を整えていくべきと考えるが市の見解は。

答 都市計画部長 プレー可能な環境整備については、土地の確保やその整備費用の確保などについてさまざまな課題があるが、市としては市民のレクリエーション活動の充

問 実や高齢者の健康増進の観点から、環境整備を進めることについては良いことであると考えており、さまざまな年齢層の人が利用する施設整備等についてバランスも考慮しながら、引き続き関係部署と連携し、市民の希望に沿えるよう努めていきたいと考えている。

答 マレットゴルフ等整備

問 持続可能な行財政運営



自由民主党 吉敷 賢一郎 3
南古谷小学校の施設改善を

問 児童数が1039人である南古谷小の屋外運動場は、国が定める設置基準の面積を大きく下回る。早急な対応が必要と考えるが、市の考えを伺う。

答 教育長 南古谷小学校の屋外運動場の面積は、平成14年に示された設置基準に当てはめると、基準面積の3分の2程度となっている。喫緊の対応として、学校敷地内の現

問 在利用している駐車場の一部を隣接地に確保し、屋外運動場に変更することを検討する。今後については、設置基準に近づけるよう、さらに長期的な対応として、考えうる方策を、関係部局と協議しながら検討し、南古谷小学校の教育環境を児童のために良好なものとなるよう努めていく。

問 学校施設の現況